

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公表番号】特表2012-522947(P2012-522947A)

【公表日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-039

【出願番号】特願2012-503664(P2012-503664)

【国際特許分類】

F 1 6 C 7/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月25日(2013.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ピストンをクランク・ピンに結合させるための連接棒であって、
対向する第 1 および第 2 の軸方向端部を備えた細長い棒シャンク（225）と、
前記棒シャンクの前記第 1 の軸方向端部にあり、前記ピストン（105）に結合するよ
うに適合された小さい端部（117；230）と、
大きい端部（135；210）であって、

前記棒シャンク（225）の前記第 2 の軸方向端部にある本体部（215）と、

前記本体部に解放可能に結合するように適合されたキャップ部（137；205）で
あって、前記キャップ部が前記本体部に結合されるとき、前記キャップ部および本体部が
、クランク・ピンを受け入れる孔（145；220）を画定するように共働し、第 1 およ
び第 2 の離間して置かれたインターフェース（240、235）において当接し、

前記キャップ部（137；205）は、前記第 1 のインターフェース（240）の近
位に、前記キャップ部（137；205）を前記本体部（215）に係合させクランプ留
めするねじ式締結具（270）を受け入れるように適合された少なくとも 1 つの開口（2
71）を画定し、

前記キャップ部（137；205）は、クランク・ピン孔の中心から前記第 1 のイン
ターフェース（240）まで最大半径を超えて径方向に延びる前記第 1 のインターフェ
ース（240）に近接した側部分（280）を含む、キャップ部（137；205）

とを備える大きい端部（135；210）と、
を備える、連接棒。

【請求項 2】

前記棒シャンク（225）の長手方向軸に対して直角に測定された前記連接棒の最大寸
法が、前記棒シャンク（225）の前記長手方向軸に対して直角に測定された前記本体部
（215）の最大寸法より大きい、請求項 1 に記載の連接棒。

【請求項 3】

前記キャップ部（137；205）の前記側部分（280）が、前記第 1 のインターフ
ェース（240）の周りで前記本体部（215）を超えて径方向に延びる、請求項 1 また
は 2 に記載の連接棒。

【請求項 4】

前記キャップ部（１３７；２０５）の前記側部分（２８０）が、前記本体部（２１５）が前記第１のインターフェース（２４０）を超えて径方向に延びるのを上回る量を前記第１のインターフェース（２４０）を超えて径方向に延びる、請求項１から３のいずれかに記載の連接棒。

【請求項５】

前記キャップ部（１３７；２０５）の前記側部分（２８０）が、前記キャップ部（１３７；２０５）が前記第２のインターフェース（２３５）を超えて径方向に延びるのを上回る量を前記第１のインターフェース（２４０）を超えて径方向に延びる、請求項１から４のいずれかに記載の連接棒。

【請求項６】

前記第１のインターフェース（２４０）の端部を通る平面を径方向に超え、かつ前記第１のインターフェースに直交する前記側部分（２８０）の総容積が、図心（２８３；２８６）を有しており、前記図心は、前記クランク・ピン孔の中心から前記キャップ部（１３７；２０５）の周囲まで最小半径内に径方向に存在する、請求項１から５のいずれかに記載の連接棒。

【請求項７】

前記図心が、前記第１のインターフェース（２４０）と平行であり、前記第１のインターフェースから２５°の角度だけ変位されたセクション内に存在する、請求項６に記載の連接棒。

【請求項８】

前記側部分（２８０）が、前記クランク・ピンの中心から前記キャップ部（１３７；２０５）の周囲まで最大半径内に径方向に存在する、請求項１から７のいずれかに記載の連接棒。

【請求項９】

前記第１および第２のインターフェース（２４０、２３５）が、前記棒シャンクの前記長手方向軸に直交していない、請求項１から８のいずれかに記載の連接棒。

【請求項１０】

前記第１および第２のインターフェースが、同一平面上である、請求項９に記載の連接棒。

【請求項１１】

前記キャップ部（１３７；２０５）および前記本体部（２１５）が、前記第１のインターフェース（２４０）および／または前記第２のインターフェース（２３５）に、相互係止する頂点およびくぼみを含む、請求項１から１０のいずれかに記載の連接棒。

【請求項１２】

前記キャップ部（１３７；２０５）および前記本体部（２１５）が、一体型の大きな端片から前記キャップ部を破断分割して別個の本体部およびキャップ部の要素を形成することによって製造される、請求項１から１１のいずれかに記載の連接棒。

【請求項１３】

前記連接棒の前記キャップ部（１３７；２０５）が、複数のねじ式締結具（１４８；２７０、２７５）によって前記本体部（２１５）に解放可能に結合される、請求項１から１２のいずれかに記載の連接棒。

【請求項１４】

前記ねじ式締結具の少なくとも１つ（１４８；２７０）が、前記第１のインターフェース（２４０）を貫通して延びる、請求項１から１３のいずれかに記載の連接棒。